



北海道士歌人会詠草

交通違反

北広島 古屋雅三知

サイレンに胸の高鳴り激しくて 遠くに響く警官の声
高飛車に畳み掛けたるもの言ひに返す気力も言の葉も無し
その場では動揺大きく 言えぬこと数多ありけり 今に思えば
常日頃は通らぬ道を通りしが我が身に降りし不幸とぞ思う
十五年ゴールド免許を続けしも僅かのミスで水泡に帰す

雪間草

函館 水関 清

空と海の接する処 ふくらみて船の形に 津軽海峡
まず津軽ついで下北半島の やまなみ見ゆる 青函の旅
枯蓮の増えて明るむ池の面に 白鳥舞い降り しずかに立てり
逢いたいと思えど叶わぬ人ら 皆来よこの大海の 夕焼けのもと
春風に 小躍りをして起き上がる 笹叢滑るひと冬の雪

紅白

江別 三宅 浩次

正月のカーテンを開け赤松に降り積む雪にわれ対面す
レンジャクはナナカマドの実に群れなして白雪の上食い散らし去る
性別の代わりに使う紅白の本当の意味不明のまま
源平の戦の旗は紅白と歴史絵巻は語り継ぎ来て
小学の運動会で二分する組は赤組白組だった

甘藷

札幌 浜島 泉

戦時には米乏しきに 大根と甘藷を煮込み糧をかなへし
ビル陰に朝日隠れつ 川筋の風は冷たし山より来しか
留鳥のヒヨドリどもが飛び交ひて 街路樹の実が食ひ尽くされつ
節電と言ふも明かりが潤ほひと 街に溢るるイルミネーション
今日もまた降り積む雪に足踏み 乗るべきバスが窮み来にけり

いのちの河

釧路 兎玉 昌彦

平凡な普通の人が突然に殺人者となる現代という時代
(社会いま・壊れつつある) 実感が日毎深まる怪異の数々
借金どうつに不満が重なって命がゴミのように棄てられ
あぶく銭・国の借金とどこおり・あとはガラガラ・ポーン・さいなら
「理想」とか「進歩」というから矛盾出るヒトの歴史も分子の沸騰

お知らせ

今月は稲積文字先生がお休みします。北海道医師会員であれば、どなたでも応募できますので、どうぞ詠草をお寄せください。
詳細は、北海道医師会情報広報部までお問い合わせ願います。

北海道医師会情報広報部

〒060-0862 札幌市中央区大通西6丁目

TEL 011-231-7661 FAX 011-241-3090

E-mail: ihou@ndou.jp

編集幹事 浜島 泉